

分 かり と 快 感 !

Z会ナビ

算数

理科

社会

お題

生き物界のそっくりさん



下の写真には、ある生き物が写っています。なんの生き物が写っているでしょうか。



草むらを歩いていると、ふとある生き物が動いているのが目に入りました。しかし、写真を撮ろうとカメラを向けると、あれ？ いない……？ いや、しっかりと写真の中に収まっていた。いったいなんの生き物がいたのでしょ



イラスト・瑞木匠

生きる工夫をする昆虫たち

葉っぱじゃないよ、バッタだよ

写真を見てすぐにわかった方もいるでしょうか。そうです。この写真にはバッタが写っています。ショウリョウバッタのメスです。体長は8センチほどで、なかなかの大きさです。まだどこにいるかわからない方は、このページの最後の写真を見てください。どこにいるか見えてきたでしょうか。細長い体に緑色の部分と、かれ草色の部分があり、なかなか草むらと見分けがつかない。こんなに草むらにそっくりな体をしているのは、なぜなのでしょう。

見つからないように……

バッタは草を食べて生きています。そして、バッタは、カマキリのようなほかの昆虫や、鳥などに食べられます。でも、できるだけ鳥などに見つからないようにして、食べられることなく生きのびたいですね。

もし、この草むらに真っ赤なバッタがいたらどうでしょうか。真っ赤なバッタは遠くからでもよく自立つため、空を飛ぶ鳥にもすぐに見つかりて食べられてしまうことでしょう。でも、この草むらそっくりな色と形でじっと動かずにいると、鳥たちも気がつかずに通り過ぎていくのです。草むらそっくりな体は、鳥に見つからずに生きていくために役立っているのです。このように、ほかのものそっくりに似ることを、「擬態」といいます。このショウリョウバッタは、草むらに擬態していたのですね。

いろいろな擬態

ショウリョウバッタの擬態は、敵に見つからないように、自立たなくなるために役立っています。しかし、擬態する生き物の中には、わざと自立つようにするものもあります。こちらの写真を見てください。



花にハチがやってきているのかな、と思った方は残念、まちがいです。実はこの昆虫はハチではなく、シマハナアブというアブで、ハチよりもハエに近い昆虫です。ハチではないので毒針でさすことはありません。毒針のような武器がないのにこんなに自立つ色をしていたら、鳥などにすぐに見つかりて食べられてしまうのではないかと心配になってしまいますね。でも、自立つことがこのアブの狙いなのです。このアブは、自立つ姿でハチに擬態しています。ちなみに、こちらが本物のハチ(ニホンミツバチ)です。そっくりですね。



ハチに擬態すると、昆虫を食べる鳥たちもみなさんと同じように、ハチかな？ さされるのかな？ と思って、あまり食べ

うとしません。実際には毒針もなにもないのに、ハチに似ているおかげで、敵に食べられにくくなるのです。しっかりと自立つことで、逆に食べられにくくなることもあるのですね。

ハチに擬態している生き物は、このシマハナアブ以外にもたくさんいます。

さらに、見た目が似る擬態以外にも、羽音が似ていたり、動きが似ていたり、さまざまな方法で擬態する生き物もいます。図鑑などを見て調べてみるとおもしろいですよ。昆虫たちも、いろいろと工夫をして生きているのですね。

(Z会・鳥越賢)

バッタはここにかくれていました



！ 今回の 教訓

ならず、です。

ハチに似た生き物を見つけても、ハチかどうか分からないときには、手を出さないようにしましょう。君子危うきに近寄らず、です。



鳥越賢さん 2010年Z会入社。小学生向けの理科の教材編集を担当。生き物が大好きで、妻と2人の娘とたくさんの生き物に囲まれて暮らす。山口生まれ広島育ち。